

グラフで見る三井化学

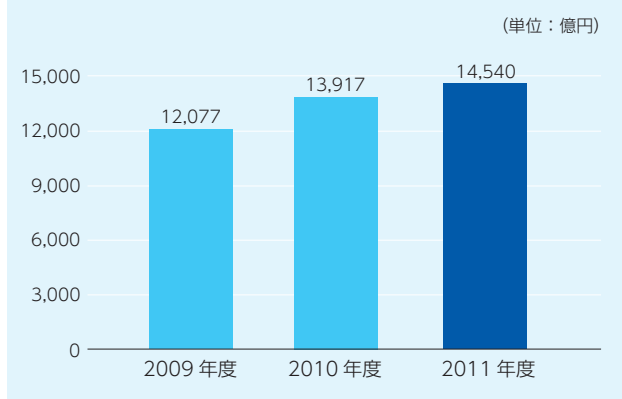
2012年6月4日



はじめに

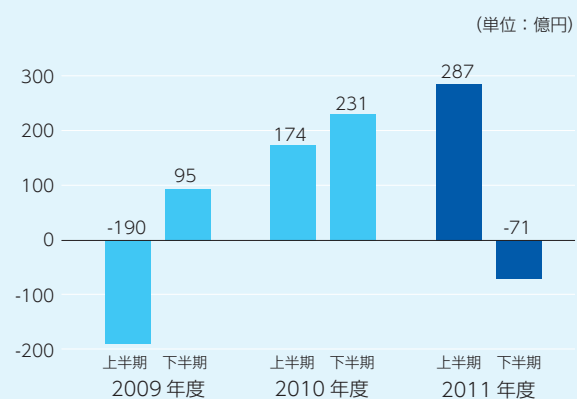
当社事業の現状につきましては、招集ご通知の添付書類である「事業報告」に詳細に記載しておりますが、株主の皆様により分かりやすく当社の現状を知っていただくため、本状を同封いたしましたので、ご高覧いただければ幸いです。

売上高



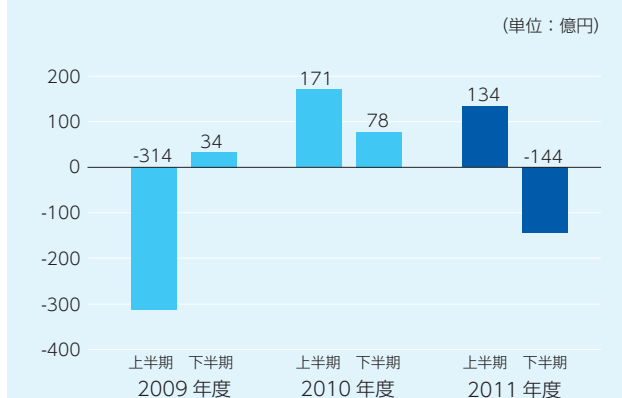
ナフサなど原燃料価格上昇による販売価格の改定と上半期における基礎化学品の市況改善による販売価格上昇により、前期に比べ623億円増の14,540億円となりました。

営業損益



2011年度上半期まで着実に増加していたものの、下半期は厳しい状況が継続するウレタン事業に加え、基礎化学品の市況価格下落などの影響を受け71億円の損失を計上、通期では前期に比べ189億円減の216億円の利益となりました。

当期純損益



下半期にウレタン事業に係る生産設備の減損損失の計上を余儀なくされたことから、通期では前期に比べ259億円減の10億円の損失となりました。ウレタン事業の再構築については、右記「ウレタン事業の収益改善への施策」をご高覧ください。

COLUMN

—ウレタン事業の再構築—

ウレタン事業の収益改善への施策

ウレタン事業につきましては、市況の低迷、中国における設備新設に伴う供給過剰等により厳しい状況が継続しており、残念ながら2011年度に生産設備の減損損失の計上を余儀なくされました。同事業の再構築に向け、以下の施策を実施しています。

まず、サウジ基礎産業公社との間で、ポリウレタン原料のTDI、MDI製造技術ライセンス契約を締結しました。これに伴い同社から競争力あるポリウレタン原料を入手することが可能となるため、今後のウレタン事業におけるさらなる提携も検討しています。また、同社から支払われるライセンス料が収益に貢献します。

次に、ポリウレタン原料の一つPPGにつき、2012年6月に当社会社における生産を停止、国内2拠点体制とすることで生産効率化し、一層のコストダウンを進めます。

加えて、将来的にはTDI、MDIについては、海外拠点からの供給を主とする一方、既存の国内拠点は、さらなる合理化を目指すとともに、高付加価値製品への投資を行っていきます。コストダウンについては、2015年度までに2010年度比80億円以上の削減を目指し各種施策を前倒しで実行しており、既に2011年度末時点では30億円以上を削減しました。

これらの施策により、収益改善が進みつつあり、早ければ2012年度中の黒字化を目指しています。

2011年度中期経営計画の基本戦略

景気変動を受け難い事業の拡大

競争優位事業のグローバル拡大

将来のコア事業創出

徹底的なコストダウンと抜本的な再構築

競争優位事業のグローバル拡大

メガネレンズモノマー 2011年4月

スイスのプラスチックメガネレンズ材料製造・販売会社Acomon社を100%子会社化



全世界で低・中屈折率製品を販売する同社の買収により、当社の得意とする高屈折率製品と合わせた品揃えの充実、全世界での販路拡大が実現します。また、同材料全体で世界トップシェアとなります。

競争優位事業のグローバル拡大

エラストマー 2011年12月

中国における中国石油化工股份有限公司(Sinopec社)との合成ゴム(EPT)合弁会社設立契約締結

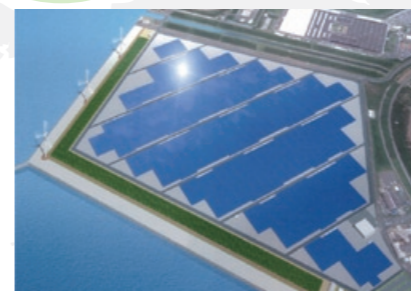


自動車部品等工業製品に幅広く使用され、今後、大幅な需要増が見込まれるEPTの世界最大規模・最新鋭プラントの営業運転を2014年度第1四半期に開始すべく同社との間で合弁契約を締結しました。

将来のコア事業創出

2011年10月

田原メガソーラー計画 再生可能エネルギー事業へ参入、新たな素材開発を促進



当社は、愛知県田原市において、中部電力の協力のもと、再生可能エネルギーに関する知見、実績を有する他社と共同で、国内最大規模の太陽光・風力発電事業を実施することを決定し、実現に向け検討を進めています。

競争優位事業のグローバル拡大

ポリプロピレンコンパウンド 2012年5月

ブラジルにおけるポリプロピレン(PP)自動車材生産新拠点設置



当社及び当社子会社(株)プライムポリマーは、PP自動車材の需要拡大に対応するため、ブラジルに同製品の製造・販売新会社を設立しました。これにより、世界トップクラスの供給力をさらに強化し、伸長する需要を獲得して、一層の事業強化を図ります。

景気変動を受け難い事業の拡大

農業化学品 2011年5月、9月

タイ及びブラジルにおける農業製造・販売会社への資本参加



当社100%子会社三井化学アグロ(株)は、タイのSotus Internationalの株式10%、ブラジルのIharabras S.Aの株式11.89%を取得し、成長著しい両地域において、景気に左右され難い農業化学品事業のさらなる拡大を目指します。

徹底的なコストダウンと抜本的な再構築

2012年2月

ポリウレタン原料TDI・MDI製造技術に関するサウジ基礎産業公社(SABIC社)とのライセンス契約締結

詳細は1頁に記載しています。



当社の製造技術は高品質な製品を安定的かつ安全に製造できる技術として同社より高い評価を受けています。同社とは、将来のさらなる事業提携についても検討をしています。

景気変動を受け難い事業の拡大

機能フィルム 2012年4月

タイにおいて高機能な包装フィルムの生産・販売合弁会社を設立



当社100%子会社三井化学東セロ(株)は、高機能包装フィルムの国内トップメーカーです。今般、経済成長に伴い市場が拡大しているアジア地域において2014年に同製品の生産を開始する予定です。

景気変動を受け難い事業の拡大

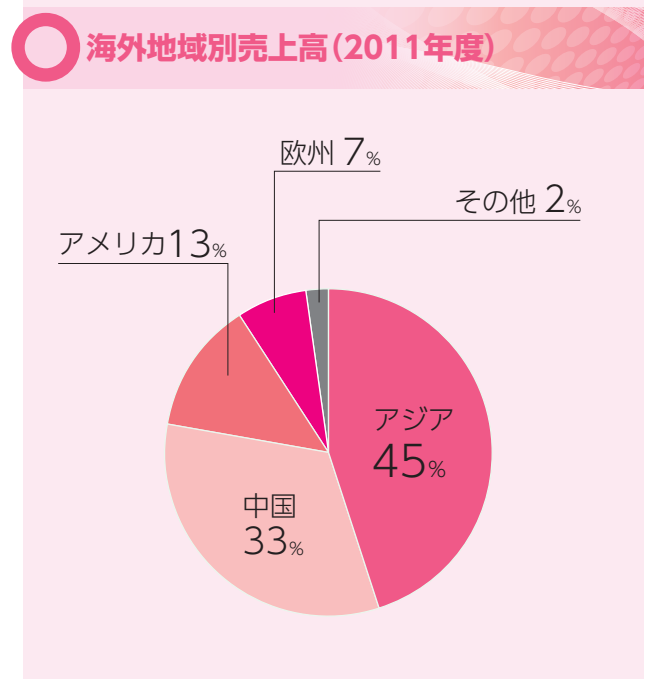
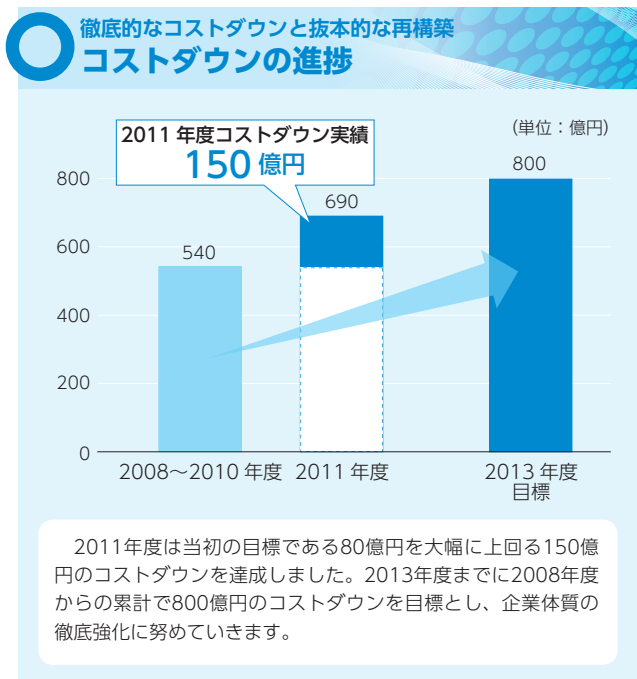
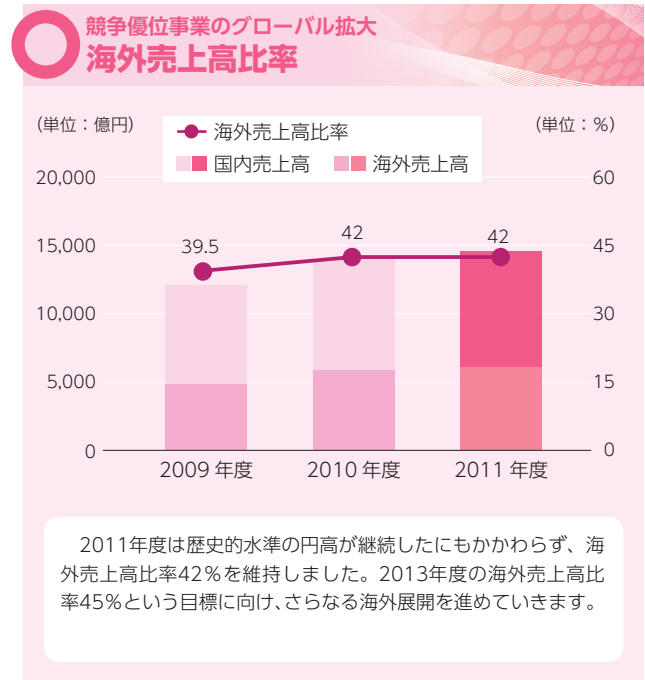
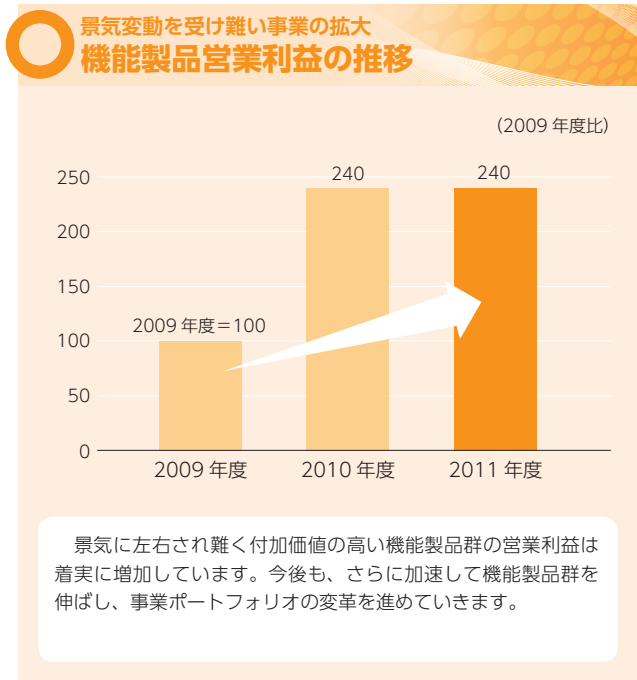
農業化学品 2011年8月

ブルネイ王国における大規模ガス化学事業についての優先交渉権獲得



当社及び三井物産(株)は、同国の国営企業とともに安価、高品質な原料を使用して肥料原料アンモニアを事業化する予定です。肥料は、今後の世界的な食料需要の増加により、需要の拡大が見込まれています。

2011年度中期経営計画達成に向けて



おわりに

2011年度の世界経済は、欧州の財政危機、新興国の金融引き締めなどによる世界景気の減速や、歴史的な水準で継続する円高、タイの洪水などにより非常に厳しい状況となりましたが、当社グループは、2011年度中期経営計画の基本戦略を着実に実行することで、グローバルに存在感ある化学会社を目指して全社一丸となって邁進してまいります。株主の皆様におかれましては、何卒倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。